

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,655	3,614	△ 41	(注1)
施設整備費補助金	44	41	△ 3	(注2)
補助金等収入	0	6	6	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	29	27	△ 2	(注4)
自己収入	1,877	1,892	15	
授業料及入学金検定料収入	1,801	1,812	11	(注5)
雑収入	76	80	4	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	100	73	△ 27	(注7)
目的積立金取崩	0	8	8	(注8)
計	5,705	5,661	△ 44	
支出				
業務費	5,532	5,369	△ 163	
教育研究経費	5,532	5,369	△ 163	(注9)
施設整備費	73	68	△ 5	(注10)
補助金等	0	6	6	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	100	74	△ 26	(注12)
計	5,705	5,517	△ 188	
収入－支出	0	144	144	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当繰越額の減少により、予算額に比して決算額が41百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、当初の見込みよりも交付決定額が少なかったこと等により、予算額に比して決算額が3百万円少額となっています。
- (注3) 補助金収入については、設備整備費補助金等の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が6百万円多額となっています。
- (注4) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、当初の見込みよりも交付決定額が少なかったことにより、予算額に比して決算額が2百万円少額となっています。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、受験者数、入学者数の増加等の理由により、予算額に比して決算額が11百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、財産貸付料収入の増額等の理由により、予算額に比して決算額が4百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入および寄附金収入については、受託事業の受入額の減少等の理由により、予算額に比して決算額が27百万円少額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、教育研究環境整備工事に対して取崩を行ったことにより、予算額に比して決算額が8百万円多額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、教育研究環境の充実を目指し、教育研究環境整備等の必要経費の捻出を目的として経費の節減に努めた等の理由により、予算額に比して決算額が163百万円少額となっています。
- (注10) 施設整備費については、注2および注4に示した理由により、予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注11) 補助金等については、注3に示した理由により、予算額に比して決算額が6百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、注7で示した理由等により、予算額に比して決算額が26百万円少額となっています。